

## 知事と J R 西日本真鍋社長との会談結果について

○月 日 平成 26 年 8 月 20 日 (水)

## ○会談結果

## 1 関西・中京方面の利便性の確保

- ① シャトルタイプ新幹線「つるぎ」の新高岡駅への全列車停車及び富山駅早朝発の運行については、本県要請も踏まえて調整
- ② 金沢駅における特急と新幹線との接続については、本県要請も踏まえて調整。また、金沢駅では、上下方向の移動距離が短い中二階での乗り換えが可能なよう整備
- ③ 早朝の長野発富山方面の新幹線運行について、本県要請も踏まえて調整
- ④ 特例として、沿線市町毎に 1 箇所 J R 切符の販売が行えるよう配慮  
・泊駅、入善駅、黒部駅、魚津駅、滑川駅、小杉駅、高岡駅、石動駅に配置
- ⑤ 県東部の利用者に配慮した企画切符や割引などの新幹線と特急の価格面での乗り換え負担の緩和については、J R も必要性を認識しており、現行ある企画切符の継続も含め、企画商品や乗換割引の具体策について引き続き検討

なお、県・あいの風とやま鉄道では、県東部地域などと新幹線駅との移動などに配慮し、J R 西日本の協力のもと、快速列車を泊～金沢間で、平日、2 往復増便（先に決定したものと合わせ、一日 3 往復運行）することとし、今後、関係者と調整を進める。なお、快速の運行ダイヤ等については、特急との接続、利用見込みや車両運用等を勘案し、今後調整。

※ 「つるぎ」の全列車高岡駅停車、富山駅早朝発の運行、早朝の長野発富山方面の新幹線運行、J R 切符の販売をはじめ、上記の点について本県の要望に沿った対応がなされるならば、関西・中京方面の利便性について相当程度配慮がなされたと考えられることから、新幹線開業が間近に迫り、ダイヤの概要も近く発表される段階となっていることを踏まえ、富山への特急乗り入れ廃止は、誠に残念であるが、止むを得ないのではないかと考えている。関係方面や県民の皆さんに必要な説明を行うとともに、引き続き金沢～敦賀間の 3 年以上の前倒し開業を国等に働きかける。

## 2 北陸新幹線関係

- ・新幹線のダイヤは、前倒しで発表されるよう改めて要請
- ・定期列車のほか、ニーズを踏まえた臨時列車の運行を調整
- ・北陸新幹線をジャパンレールパスの利用区間に設定する方向で調整
- ・J R 西日本において、新幹線開業 P R を大規模に実施

## 3 観光、経済面の連携推進

- ・J R 西日本主催の「関西・北陸交流会」を開業までに富山で実施することを検討
- ・関西方面から特急や新幹線を利用した旅行商品の開発、関連イベントの実施などを積極的に連携して推進
- ・富山の地域資源を活かした企画切符、旅行商品などについて引き続き検討

## 4 1～3 以外の事項

- ① 県東部で新型車両（521系）を早期に運行するよう改めて要請
- ② 交通 I C カードの金沢駅での誤乗車への対応に協力（カード消し込み処理）
- ③ 新幹線開業後のニーズを踏まえ、富山～高山間の特急列車の増便を改めて要請
- ④ 城端・氷見線の活性化について改めて要請